

JBA 公認審判 D 級・E 級ライセンス / 大会の適用基準について

(一財) 北海道バスケットボール協会

「D 級ライセンス」

1. 道大会（ブロック）、並びにその予選会等を兼ねるゲームの主審は、原則担当できないものとする。但し、主管団体が認めた場合、この限りではない。
2. 主管団体が認め、D 級ライセンスの審判員が主審を担当する場合、副審は D 級ライセンス以上の資格を有するものとする。

「E 級ライセンス」

1. 道大会（ブロック）、並びにその予選会等を兼ねるゲームの審判は、原則担当できないものとする。但し、主管団体が認めた場合、副審を担当することができる。
2. 上記1において、E 級ライセンスの審判員が副審を担当する場合、主審は C 級ライセンス以上の資格を有するものとする。
3. 練習試合等においては、主催者が認めた場合、この限りではない。

「記」

JBA において、2016年施行された審判ライセンス制度についての運用、並びに関連措置（C 級以下のライセンス更新時研修会、E 級更新手続義務）等の改編について検討されているようです。

本ライセンス制度の内容については、導入以前より大会並びにゲームの質向上とゲーム管理など留意しなければならない点（E 級ライセンスの資格有効期限永年等）を指摘させて頂いており、本協会は、審判員のモチベーション（ランク UP を目指す姿勢）の確保、ゲームの質向上等も鑑み、移行措置として今制度導入時点での E 級ライセンスを見送ってまいりました。（他県「4 県」も E 級登録がゼロとなっておりますが、詳細は分かりません。）しかし、今年度より「全てのゲームを有資格者が吹く！」を目指し、E 級ライセンスにおいて、JBA、E ラーニング等の手続きにより個人が容易に取得できるようになっております。

今回の施行を受け、2018年度に新たに JBA から提案される新ライセンス制度の施行までに間の移行措置とし、上記「D 級」・「E 級」の道内大会におけるライセンスの適用基準を設けるものです。

以上